

令和7年度 第1回 FD・SD 研修会報告

日時：令和7年6月17日（火）
場所：H207 教室
出席者：31名
発表：矢澤 建明（入試広報部）
テーマ：SNSを活用した広報戦略について

内容：

今回のFD研修では、入試広報部長の矢澤より「SNSを活用した広報戦略」について話題提供を行った。現在、SNSは広報ツールとして当然のように活用されているが、まだ十分に活用できていない教員もいるため、この機会に改めて取り組みを強化してほしいと呼びかけを行った。

まず、公式アカウントのフォローと投稿への「いいね」から参加してほしいと依頼した。学内には専用のLINEグループがあり、そこに写真を投稿し、簡単なコメントを添えるだけで構わない。投稿された内容は、学内の担当者が調整して発信する体制が整っているため、教員側の負担は最小限に抑えられている。投稿は義務ではないが、気軽に協力してほしいと説明した。

他大学の事例として、戸板女子短期大学では、授業風景などの楽しそうな投稿が多く見られ、活発な運営が広報効果を高めている。金城学院大学においても、授業内容の紹介を増やせないか模索されており、事務方で学科ごとの担当者を決め、フォローしていく体制を構築しつつある。

授業に関する投稿例も紹介した。例えば、IT基礎という座学の授業で、二進数を数える指の動画を工夫して投稿した事例である。また、アウトドア演習では、学生が撮影した写真をアップロードしてもらう方法を取り、これにより、教員が撮影するよりもリラックスした良い表情の写真が得られた。こうした写真をサムネイルに使用すると閲覧数が伸びやすいことが確認されている。

SNSごとの活用状況については、X（旧Twitter）は以前ほど多くの学生が利用しているわけではなく、主に告知用として活用している。一方で、Instagramは気軽に写真や動画を投稿できるツールとして有効である。ただし、TikTokについては投稿内容によって注意が必要であり、慎重な運用が求められる。

質疑応答では、SNSと公式HP記事の役割の違いについて確認があった。HPには整った文章が必要だが、SNSは文章の体裁にこだわらず、写真や動画を中心に気軽に投稿することが大切である。炎上などのリスクが発生した場合の対応方法についても職員間で情報共有しているため、教員はまずネタを提供することに意識を向けてほしいとのことであった。

今回の研修を通じて、教員一人ひとりがSNSを活用した広報に協力し、楽しみながら情報発信を行っていくことが求められる。

